

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：身体障害者更生相談所費

事業名 医学的判定及び巡回相談事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 身体障害者更生相談所 電話番号：058-231-9722

E-mail：c22201@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,600 千円 (前年度予算額： 1,600 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,600	0	0	0	0	0	0	0	1,600
要求額	1,600	0	0	0	0	0	0	0	1,600
決定額	1,600	0	0	0	0	0	0	0	1,600

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・医学的判定事業（病院内判定）
身体的条件等の事情によって、来所又は巡回による医学的判定が受けられない身体障がい者に対し、委託病院において補装具交付のための医学的判定を行う。
- ・巡回相談事業（病院巡回相談業務委託分）
飛騨地区に居住する身体障害者に対して、委託病院を通じて、巡回相談を実施し、医学的判定を行い、補装具支給の迅速化を図る

(2) 事業内容

- ・県内の主要病院と委託契約を締結する。
委託病院：県立多治見病院（整形外科・耳鼻科）
県立下呂温泉病院（整形外科）
高山赤十字病院（整形外科・耳鼻科）
天野眼科医院（眼科）

医学的判定事業 1,400千円

過去3年の件数				
	R4	R5	R6	最大件数
初診料	49	64	40	64
外来診療料	44	62	42	62
検査	4	12	9	12
文書料	71	104	72	104
事務費	54	67	57	67

令和7年度積算			
令和7年度単価に過去3年の最大件数を乗じて積算			
	単価	件数	金額
初診料	2,910	64	186,240
外来診療料	760	62	47,120
検査	3,500	12	42,000
文書料	1,650	104	171,600
事務費	14,200	67	951,400
	合計	309	1,398,360

↑単価の値上げを考慮し千円以下切り上げ

巡回相談事業（飛騨地区） 200千円

巡回相談事業（実績）

年度	R2		R3		R4		R5		R6	
取扱実人員	23	名	30	名	16	名	22	名	16	名
判定件数	23	名	30	名	16	名	22	名	16	名
相談件数	0	名	0	名	0	名	0	名	0	名

(3) 県負担・補助率の考え方

・県 10/10

(4) 類似事業の有無

・無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,600	医学的判定業務委託料、巡回相談業務委託料
合計	1,600	

決定額の考え方

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

（「清流の国ぎふ」創生総合戦略の位置づけ）

1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり

(2) 誰もが活躍できる社会

②障がいのある人もない人も共に活躍できる社会の確立

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

身体障がい者の福祉向上のために継続して実施すべき事業であり、指標は設定できない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	医学的判定事業 県立多治見病院 43件 県立下呂温泉病院 11件 高山赤十字病院 36件 巡回相談事業 高山市 2回 取扱人数 16人
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	医学的判定事業 県立多治見病院 72件 県立下呂温泉病院 7件 高山赤十字病院 19件 巡回相談事業 高山市 2回 取扱人数 22人
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和6年度	医学的判定事業 県立多治見病院 42件 県立下呂温泉病院 11件 高山赤十字病院 31件 巡回相談事業 高山市 2回 取扱人数 16人
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	当所(岐阜市)への来所が困難な障がい者のための事業であり、必要性は高い。
<p>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	身体障がい者が適切なサービスを受けることができおり、事業の有効性は高い。
<p>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	巡回相談については、飛騨地区での開催を飛騨地区の病院へ委託することにより効率化を図っている。

(今後の課題)

医学的判定の依頼や巡回相談の実施希望が増えた場合にも対応できるよう、十分な体制を整えることが必要。

(次年度の方向性)

市町村及び関係機関と十分協議のうえ、身体障がい者のニーズを踏まえた充実した事業となるよう取り組む。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】